

僕と私の ドビュッシー





この漫画は、R-18作品です。

本作のキャラクターのイメージを
損ねる可能性のある表現があります。

また、～だんがん紅鮭団～
までのネタバレが含まれています。

上記の点に注意して、ご覧ください。

※当漫画は、個人が制作した非公式二次創作です。
だんがんロンパ公式各位とは、一切関係ありません。

一章 図書室にて

この脚立が
使えるかもね

ちょっとこれに登って
通気口を調べてみるよ

うわ…登ってみると
結構高いよ
ちよっと…怖いかも

代わろうか？

ううん…
大丈夫だけど…



…って
何を考えてるんだ
僕は…っ！



それにしても
赤松さんって
カワイイよな…
胸も大きいし…



ん…!?
あれって
もしかして…



赤松さんの
パンツ…!!



あっ…ごめん!

!?



ところで…最原くん
パンツとか
見えてないよね?



ぎゃっ!?

グ
ラ
ツ



ごめんって!
もう…っ



ドジン

ごめんね
ドジ
踏んじやって…



クツ

いたた…
大丈夫？
最原くん



あの
最原くんが…
…えっ…!!

…っ!!



えっ!!

もっこり



…ちよつと…
もお…っ!!
最原くん…!!

い…いや…!!
これは…
その…っ!





ここまで
大きくなったら
一回出して
こないとな...

ちよつと
待ってて

...



でも...こんな時に...
ほんと最低だよ



待って!!

最原くん!
下脱いで!

えっ...
ええっ!!



当事者として責任を
感じちゃうんだよね



それはダメだよ
さすがに...

赤松さんにそんな事
させるワケには
いかないよ!!

いいんだよ...

私にも非がある
ワケだしさ...

私も手伝うよ...
最原くんの...

い...いやいや!
ちよつと待って!!

それに忘れたの？
私は超高校級の
ピアニストなんだよ？

じゃーん

指先の
テクニクには
自信が
あるんだから！

僕はピアノじゃ
ないんだけどなあ…



ダ…ダメ…
かな…？



もちろん
最原くんが
いいなら…
んですけど…



イヤ
だったら…
途中で止めて
いいからね…

ガキヤ



ううん、平気…



きやつ！？

む…無理しなくて
いいよ…

ズロツ



赤松さんの繊細な指先が絡みついて…っ!!



えっ…!?

う…っ
すごい…っ



ドクン!
ドクン!



こ…
こうかな…?



あっ…
んんっ…!!

んく…っ!

くう…っ!!

最原くん
カワイイね…
女の子みたい…

ふふ…



快感の波に合わせて…
リズムを刻むように…っ

う…うああ…っ!!



じゃあ
もしかしたら…

こっちの方が…

もっと
気持ちいい
…かな？

なっ…!!

ゴッゴッ

プルプル



赤松さん!?! いいよ!!
そこまでしなくて!!

男の子って…
こゆう風にされるのが
気持ちいいんでしょ?

あ…っ!

ギョ

もっと聴きたく
なっちゃって…

だって…
最原くんの
カワイイ声…



ダメだって赤松さっ...
あっあっあっ!!

ハア

ハア



うああっ!!

アッ

アッ



そんな!
口まで
使って...っ!!



ド

びゅるるる



チュ

ああああ...ダメダメ!!
イクイクイク!!

「アハハハ…」

「ごっ！ごめん！！
赤松さん！！」

「いいよ
気にしないで」

「おっ…」

「私が好きで
した事だから…」

「…」

「どうして…
僕なんかここまで
してくれたの？」

「…最原くんなら
いいかなって…」

「えっ…？」

「…なんだろう」

「スッ…」

「ロシアイなんか
させられてる
こんな状況なのにさ」

「私
最原くんのコト
信じてるんだよね」



これからも…
ドビュッシーとか
ショパンとか

いろんな曲を
君に聴かせて
あげたい…

そう思える
最原くんなら
いいかなって…

おぎゃ♡

赤松さん…



たぶん私いま…

最原くん
と同じコト
考えてると
思う…

いま私が最原くん
にしてほしいと
思っていること…

ねえ…
してくれる？





い...
入れるね...



うん...



好...
好...

た...

じ...
じ...



クワッ...

このまま混ざり合って
溶けてしまいたいそうだ...

赤松さんの中...
とろとろで温かくて
すごい...

あー...
アッ...



大丈夫？
気持ちいい？

うん...
最原くんが私の奥まで
入ってるの感じるよ...

二人で奏でよう？
私たちだけの旋律...

うん...
一緒に気持ちよく
なろうね...

ふん...
ふん...

ふん...
ふん...

ふん...
ふん...





…え？
ほんとに？

キミの…
好きなリズムで
動いていいよ…

ねえ…
最原くんは
どんなリズムが
好き？



きやっ…！

フッ

じゃあ…
少しずつ
早くして
みよっか



やだ…
恥ずかしい…っ

ほら…
聞こえるでしょ？
僕と赤松さんの
繋がってる音…

はっ
はっ

グッグッグッ♡

じゅわん♡
じゅわん♡

めろめろ



もっと
聴かせてよ…
赤松さんの音…！！

あっ…

ん…っ！

なごめ♡

スッスッ♡
スッスッ♡

フッ



すごい…最原くんの…
奥まで入ってきて…
気持ちいい…っ

はぁ…ああ…
ごめん赤松さん…
もうダメ…イキそ…!!

うん…イこう…
一緒にイこ…っ!



あ…あっああっ…
赤松さん…好きだ!

私も…っ!



あっ…あああっ…!!
イク!イクよ!?

ああ…っ!
最原くん…
最原くん…っ!!



ああ……ん……
好きだよ……♡

最原くん
最原くん……♡

フッ
フッ
フッ

ド
ド
ド

けっこう……
時間
経っちゃったね……

そうだね

早く例のカメラを
仕掛けないと……





最原くんの
意外な一面も
見れたしね



でも…ほんとに
こんな流れでしちゃって
よかったの？

何言ってるの
全然いいって！



なんか視線を
感じるような…

…？
…どうしたの？



赤松のパンツを
ゲットした！



うふふー
若者の性の営みは
見てて興奮するねー

いっそ
殺し合いから
路線変更して
イカシアイ
学園生活なんて
どうかな？

おっ！そりゃ
金になるで〜！！

えっ!?
そんなんで
いいの!?